

市民の皆さんと行政の身近な「かけはし」

民生委員・児童委員

5月12日は「民生委員・児童委員の日」です

詳細 福祉政策課 (☎231-1418)



民生委員制度の歴史

民生委員制度は、大正6年に岡山県で誕生した「済世顧問制度」を始まりとし、昭和21年、民生委員令の公布により名称が現在の「民生委員」に改められました。来る平成29年、民生委員制度は済世顧問制度創設から100周年を迎えます。

民生委員・児童委員の7つのはたらき

民生委員は、民生委員法に定める要件を満たす人が委嘱され、児童福祉法に定める児童委員も兼ねます。

民生委員・児童委員の中から主任児童委員が指名され、学校、児童相談所や子育て支援センターなど児童福祉に関する機関との連絡調整を行うとともに、児童委員の活動に対する援助や協力を行います。

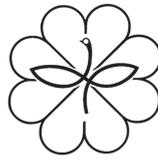


民生委員・児童委員は、**社会調査、相談、情報提供、連絡通報、調整、生活支援、意見具申**という7つのはたらきを担っています。地域福祉の担い手として、住民個々の相談に応じ、その生活課題の解決にあたるとともに、地域全体の福祉増進のための活動にも取り組んでいます。

民生委員・児童委員はプライベート

シーを尊重し、秘密を厳守する守秘義務が課されています。人種、信条、性別、社会的身分または門地によつて差別的又は優先的な取扱をすることなく、実情に即した合理的な対応を行わなければならないことも定められています。

愛と奉仕を表すクローバー



民生委員・児童委員のマークは、幸せの芽生えである四つ葉のクローバーをバックに、民生委員の「み」の字と児童委員を示す双葉を組み合わせた平和のシンボルの鳩をかたどつたものを中心にあしらい、愛と奉仕を表しています。

3年に一度の一斉改選が行われます

現在、下関市の民生委員・児童委員、主任児童委員の定数は693人となっています。全ての委員の皆さんが今年11月末に任期満了を迎えることに伴い、一斉改選が行われます。

地域で推薦された候補者は、下関市民生委員推薦会、下関市社会福祉審議会を経て、市長から厚生労働大臣に推薦され、12月1日付で委嘱を受けます。

地域の実状に沿った活動

久保会長は、5期15年間民生委員を続けています。

市の民生児童委員協議会会長としては、それぞれの地域の実状に沿った活動を目指しているとのことです。

民生委員・児童委員の仕事は「発見」と「つなぎ」

一人暮らしの高齢者や、誰にも打ち明けられずに一人で悩みを抱えている方を「発見」するには、各家庭を地道に訪問するしかありませんが、なかなか面会してもらえないことも多いとのことでした。



面会できてからは、信頼関係を築いて話をしてもらい、本人

の了承を得てから市の窓口などに「つなぎ」を行うパイプ役を担い、その後も見守りを行っていきます。

市民の皆さんに喜ばれる仕事

「心配ごと相談」に相談員として参加していた久保会長が、深刻な顔をして相談に来られた方にアドバイスを行ったところ、その方が後日、同じ窓口に来られたそうです。そのとき、久保会長は窓口にいなかったのですが、別の相談員に「あの時アドバイスしてもらったおかげで悩みが解決したので、よろしく伝えてください。」と言われたそうです。



民生委員にとって大切なこと

新たに民生委員・児童委員になる方には、地域の皆さんとのつながりを大切にいただき、1期3年間だけではなく、できれば2期、3期続けてほしいとのことでした。

大切なのはボランティア精神と熱意を持って、辛抱強く、他の人には話せないことでも話をしてもらえる信頼関係を築くことだということでした。



下関市民生児童委員協議会 久保 武雄 会長